活用にあたって

認知症になっても、誰もが安心して暮らすことができる社会の実現のために、グループホームが担ってきた役割は、認知症の人や家族にとって、まさに安心して暮らせる住まいと尊厳を支えるケアを提供することでした。そのケアとは、個々の認知症の方々の意思に沿って、なじんだ暮らし方を維持し、家族や地域の親しい人たちとの絆を保持しながら暮らせるように支援することです。またグループホームで培われた認知症ケアの強みを活かして、利用者に限らず、地域の認知症の人の支援においても力を発揮していくことが求められています。そこで、これからのグループホームの目指すべき姿として、①入居者の地域生活の継続性、②地域における認知症支援、この2つの役割を担っていくことが重要であるとし、地域交流に関する実態調査結果(平成25年度)を踏まえ、地域支援型グループホーム自己点検シートを作成しました。

平成 27 年度からの厳しい介護報酬改定の中、ハードルの高いチャレンジになると思いますが、私たち自身がグループホームの存在意義を高めていかなければなりません。

それぞれのグループホームが、自己点検シートを活用し、自分たちの支援を振り返り、地域における認知症ケアの拠点としての役割を果たしていけるようにチャレンジして頂きたいと思います。

■ 地域支援型グループホームの活動目標

- 1) 私たちは、認知症のご本人が、入居されてからも、ご本人なりのなじんだ生活を継続出来るように支援します。
- 2) 私たちは、認知症のご本人が、家族や親しい人たちとの絆を深め、なじみの地域 との交流を保ちながら、地域での生活を継続できるように支援します。
- 3) 私たちは、地域の認知症ケアの拠点として、地域住民の相談窓口や防災や見守り ネットワークなど、地域包括支援センター等との連携などにより、グループホームの認知症ケアの専門性を活かした役割を果たします。

グループホームの地域交流のあり方



- ■地域交流の取組は、「事業所としての地域交流」が入口になっている
- ■これらが継続的、日常的になっていくことで、入居者の生活支援につながっていく
- ■運営推進会議の活用が有効である
- ■そのためには地域支援に取り組むことが必要になってくる
- ■それらの取組が進むことによって、地域密着型サービスの一つとして、入居者の 地域生活の継続性、認知症の人が安心して暮らせる地域支援の役割を果たす ことになる

■活用のしかた

活用の前に・・・趣旨を理解し、目的を明確にしよう!

□ 争耒別として、取り組む日保を明確に9		事業所として、	取り組む目標を明確にする	る
----------------------	--	---------	--------------	---

- □ 職員間で、何のために活用するのか、共通理解を図る
- □ 直近の1年間の支援や活動を振り返り、活動の記録や写真などをまとめる
- □ 2年目以降の場合、前年の活動計画の評価を行う

自己点検シートを用いて、自己評価を行う

- 4つのシート、計28項目を、それぞれ「できている」「できていない」のいずれかのレベルでチェックする。
- 「できていない」のうち
 - ・<u>検討・計画している</u>・・・日頃から実施に向けて事業所内で検討し、実施 に向けて計画段階である
 - ・<u>何度か試みている</u>・・・ 機会をとらえて 2~3 回試みているが、事業所 として計画的な実施・支援になっていない
 - *検討・準備の段階ではない場合、あるいは計画や試みの段階で工夫している、悩んでいる点など、下記の自由記載欄に、その旨を記載する
- 「できている」のうち
 - ・<u>計画的に試みを続けている</u>・・・事業所として方針を明確にし、計画的に 試みを続けているが、まだ継続的あるいは日常 的な取組になっていない
 - ・<u>継続的にできている</u>・・・事業所として計画的に実施しており、継続的な 取組、支援となっている
 - ・<u>継続的・日常的にできている</u>・・・事業所として計画的に実施しており、 継続的かつ日常的な取組、支援となっている
 - *継続的とは、必ずしも月1回というような定期的なものでなくても、年間を通して、あるいは複数年にわたって取り組みが続いている場合も 継続的ととらえて差しつかえない
 - *日常的とは、必ずしも毎日のように連続したものでなく、たとえ月 1 回程度であっても、入居者の生活の継続性になっていれば、日常的ととらえて差しつかえない
 - *事業所なりの工夫や成果、課題などを自由記載欄に記載する

自己点検をもとに、行動計画を作成する

- 年に一回、定期的に自己点検し、その結果をもとに、行動計画を作成する
- 他事業所の点検結果や先進事例など、全国グループホーム団体連合会 HP より 情報収集し、行動計画に活かす
- 運営推進会議において、点検結果を提示し、地域住民の意見を反映させる

作成日:平成 年 月 日

1. 事業所としての地域交流

事業所としての地域交流に関する項目

※No.1~8 について自己点検し該当する欄に○印を付けます。

		できていない		できている		3
No.	項目	検討・準備 している	何度か試み ている	計画的に試 みを続けて いる	継続的にで きている	継続的・日 常的にでき ている
1	施設の行事に地域住民等を招いている					
2	地域の行事(祭りやイベント)に入居者と一緒に参 加している					
3	町内会への加入や会合等への参加をしている					
4	地域のサロン活動やサークル等に入居者と一緒に 参加している					
5	地域住民を含めた防災訓練を行っている					
6	グループホーム入居者の行方不明時の捜索、見守り 等に協力を得ている					
7	地域や近隣のスーパー等に日常的に買い物に出か けたり、日頃から挨拶を交わしている					
8	近隣の小中学校の行事への参加や小中学生の体験 学習の受け入れ等を行っている					

作成日:平成 年 月 日

2. 入居者にとっての生活支援

入居者を地域での生活者として支援することに関する項目

※№1~5 について自己点検し該当する欄に〇印を付けます。

		できていない		7	できている	3
No.	項目	検討・準備 している	何度か試み ている	計画的に試 みを続けて いる	継続的にで きている	継続的・日 常的にでき ている
1	入居者が地域の一員として役割を持てるような場					
1	(子ども見守りや公園掃除等) を設けている					
	入居者にとってのなじみの地域や住民との交流の					
2	機会をつくっている					
9	入居者にとってのなじみのスーパーや美容室等に					
3	通い、生活の継続性を支援している					
4	入居者の趣味仲間や友人等との交流の機会をつく					
4	り、つながりを保つ支援をしている					
_	入居者の家族や友人等への認知症教育や心理的サ				_	
\int 5	ポートをしている					

◇自由記載欄◇	

作成日:平成 年 月 日

3. 地域支援

グループホームから地域に向けて行う支援に関する項目

※No.1~10 について自己点検し該当する欄に○印を付けます。

		できて	いない	できている		
No.	項目	検討・準備 している	何度か試み ている	計画的に試 みを続けて いる	継続的にで きている	継続的・日 常的にでき ている
1	施設内で地域住民を含めた集まりの場やサロン活 動等を催している					
2	施設内での認知症サポーター講座等、認知症の啓発 活動を行っている					
3	地域の公民館やサロン等へ出かけて、認知症サポー ター講座等、認知症の啓発活動を行っている					
4	地域における行方不明者の捜索活動に参加している					
5	地域住民からの認知症に関する相談窓口を設けて いる					
6	小中学校や高校等での認知症啓発活動を行ってい る					
7	行政や地域包括支援センターと連携して、認知症カ フェや地域の認知症支援の取組に参加している					
8	災害時の避難所、あるいは福祉避難所としての役割 を担っている					
9	小中学校等と連携して地域の世代間交流活動を行ったり、地域の休耕田や空き店舗等の活用等、地域 住民や子ども達との集まり場づくりを行っている					
10	1~9の項目内容で、常に運営推進会議を活用し、 活動を促進している					

◇自由記載欄◇		

作成日:平成 年 月 日

4. グループホームの多機能性、支援の多様性

※No.1~5 について自己点検し該当する欄に○印を付けます。

		できていない		できている		
No.	項目	検討・準備 している	何度か試み ている	計画的に試 みを続けて いる	継続的にで きている	継続的・日 常的にでき ている
	共用型デイサービスの提供や小規模多機能施設等					
,	との連携により、リロケーションダメージを最小限					
1	にしたり、重度認知症の受け入れなど、地域の支援					
	ニーズに応えている					
	空室を使って短期入所の利用受入れ、あるいは定員					
	内で、短期入所の枠を設け、家族のレスパイトや緊					
2	急利用等、重度認知症の受け入れ等、地域の支援ニ					
	ーズにこたえている					
	行政や地域包括支援センター等と連携し、地域に住					
3	む認知症高齢者など、1・2の項目の受入れや、地					
3	域ケア会議への参加等、グループホームの認知症ケ					
	アの専門性を活かした取り組みをしている					
4	積極的に若年認知症の受入れを行い、若年認知症の					
4	本人と家族への支援を行っている。					
	入院中も、治療上やむを得ない拘束の時間を減らし					
_	入院によるダメージを最小限にしたり、胃瘻造設を					
5	回避できるようにしたりして、早期退院に向けた連					
	携を図っている					

◇自由記載欄◇		